

# PASSION通信

平成26年6月1日～平成27年5月31日

Special 1.

## 数字で探る！サカタのタネ

ごあいさつ  
連結財務ハイライト  
連結財務諸表

Special 2.

**特集** 世界のニーズに応える

株主インフォメーション

Special 3.

| 温故知新 | サカタのタネ ルーツを探る！ 物語①前編

Vol. 1

第74期  
株主通信



サカタのタネ

PASSION in Seed



株式会社 サカタのタネ  
SAKATA SEED CORPORATION



数字で探る!

サカタのタネ

# 当社は、100年にわたり培ってきたノウハウを生かし、 研究開発から生産・販売まで行う種苗のリーディングカンパニーです。

農業そして、家庭園芸の根幹である種苗の研究開発・生産・販売に取り組み、皆様に心と体の栄養をお届けしております。



当社は、優れた品種の育成を軸にした、研究開発型の企業です。世界の人々から歓迎される1粒を求めて、喜びのタネ、命のタネを創り出しています。



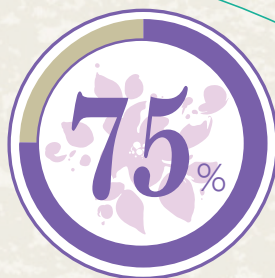
当社が日本で扱う花・野菜の品種数は、花で約100品目約1,200品種、野菜で約40品目約400品種。加えて花約80品種、野菜約10品種の新品種が毎年誕生しています。豊富なラインアップで皆様のニーズにお応えします。



政府の実業練習生として欧米から帰国した創業者・坂田武雄が、海外向けに苗木の輸出入を始めたのが大正2年のこと。24歳の若さでの創業でした。それから1世紀を経た平成25年、当社は創業100周年を迎えました。

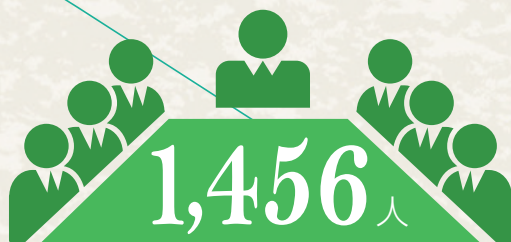


昭和9年、世界初となるF<sub>1</sub>オール・ダブル・ペチュニアが、世界で権威ある審査会の一つ、オール アメリカ セレクションズ(AAS)で銀賞を獲得。それ以来、国内外主要審査会で当社が受賞した賞の数は、総計154個に上ります。



当社のトルコギキョウの海外シェア率(当社推定)です。

昭和56年にトルコギキョウとしては世界初のF<sub>1</sub>品種「峰」シリーズを発売して以来、約130品種のラインアップを誇ります。当社のトルコギキョウはその後改良を続け、国内外で高い評価を得ています。



世界19ヶ国に研究、生産、営業などの拠点を持つ当社グループの外国人社員の総数です。全社員のじつに69%を占めます。国も文化も異なる個性豊かなスタッフたちが、タネへの情熱のもと、グローバルな舞台で活躍しています。



穀物類(コメ、ムギ、トウモロコシ、大豆)を除く花と野菜のタネの売上高で、当社は世界のトップ5に入ります(当社推定)。





## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第74期(平成26年6月1日～平成27年5月31日)の業績ならびに次期の見通しについてご報告いたします。

代表取締役社長 **坂田 宏**



### 当期の業績についてお聞かせください。

**当社グループの当期業績は、前期に比べ増収増益となりました。**

当社グループの当期の連結業績は、売上高は567億7百万円(前期比105.2%)、営業利益は47億79百万円(前期比129.6%)、経常利益は58億8百万円(前期比148.6%)、当期純利益は38億20百万円(前期比142.5%)となりました。

**北米でのブロッコリー、中国向けのニンジンなど、海外での野菜種子が好調に推移しました。**

海外では、北米でのブロッコリー、中国向けのニンジンやトルコギキョウ、インドでのカリフラワー、韓国でのハクサイなどが大きく伸びました。

国内では、野菜種子はトマト、ブロッコリー、キャベツが好調に推移し、苗木はトマトのセル苗やフォーチュンベゴニア苗を中心に売上を伸ばすことができました。小売事業は、消費税増税など厳しい環境のもと、採算改善に取り組みました。

### 次期の取り組みと見通しについてはいかがですか。

**国内卸売は野菜・花種子、苗木を中心に増収を、海外は新たな品目でも一層の拡販を目指します。**

国内では、トマト、トウモロコシ、トルコギキョウ、ヒマワリなどの種子やトマト苗を中心に売上拡大を図ります。また、ホームセンター向け事業では不採算商売の削減など、引き続き業務コストの削減に努めてまいります。通信販売事業では、平成28年1月から内容の充実・新たな特典などを盛り込んだ新しい会員制度をスタートいたします。

海外では、既存の販売網を最大限に活かして、当社グループが強みをもつ現在の品目群に加え、新たな品目で一層の拡販を予定しております。

これらにより、当社グループの次期の連結業績は、売上高は583億円(当期実績比102.8%)、営業利益は55億円(当期実績比115.1%)、経常利益は58億円(当期実績比99.9%)、当期純利益は41億円(当期実績比107.3%)と見込んでおります。

### 株主の皆様へ向けてメッセージをお願いします。

農業分野を取り巻く環境は、国内では農業人口の減少や高齢化、海外では新興国での人口増加に伴う食料需要の高まりなど、多くの課題があります。人々に心の安らぎをもたらす花、体に健康をもたらす野菜、これら付加価値の高い種苗の安定供給という種苗会社の社会的な役割がグローバルに高まっています。

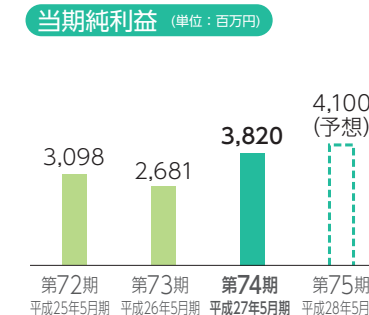
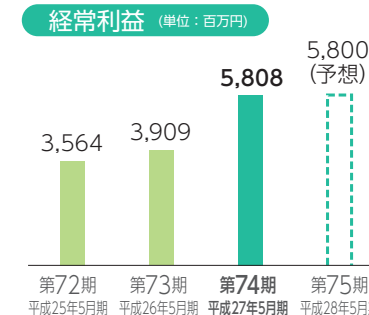
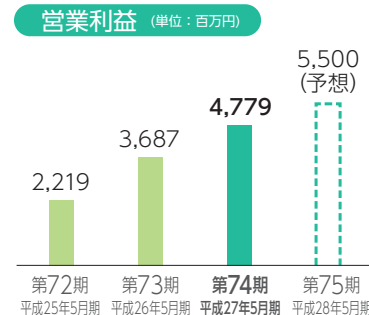
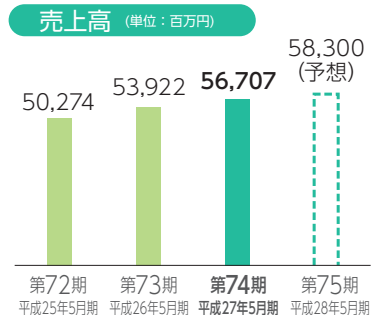
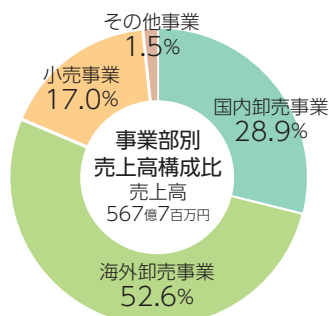
当社グループは、①高収益ビジネスモデルの構築、②不採算事業の早期黒字化、③安定的・効率的な種子供給の仕組みの構築、④グローバルカンパニー実現に向けた管理体制の構築などを通じて、持続的な研究開発活動とグローバルな営業展開をさらに推し進め、高い収益力と健全な財務体質を兼ね備えた種苗業界のリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月



### ■ 連結財務ハイライト





# 連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 平成26年5月31日現在	当期 平成27年5月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	57,146	62,724
固定資産	39,268	42,589
<b>Point 1 資産合計</b>	<b>96,414</b>	<b>105,313</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	10,326	10,262
固定負債	4,687	7,641
<b>負債合計</b>	<b>15,014</b>	<b>17,903</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	80,247	82,649
その他の包括利益累計額	1,021	4,630
少数株主持分	130	129
<b>純資産合計</b>	<b>81,399</b>	<b>87,410</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>96,414</b>	<b>105,313</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 平成25年6月1日から 平成26年5月31日まで	当期 平成26年6月1日から 平成27年5月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,552	4,136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,018	△1,844
財務活動によるキャッシュ・フロー	41	△945
現金及び現金同等物に係る換算差額	353	129
現金及び現金同等物の増減額	1,929	1,476
現金及び現金同等物の期首残高	7,233	9,162
現金及び現金同等物の期末残高	9,162	10,639

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### Point 1 資産について

流動資産が55億78百万円、固定資産が33億20百万円増加したため、前期末と比較して88億99百万円増加の1,053億13百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 平成25年6月1日から 平成26年5月31日まで	当期 平成26年6月1日から 平成27年5月31日まで
<b>Point 2 売上高</b>	<b>53,922</b>	<b>56,707</b>
売上原価	26,661	27,969
<b>売上総利益</b>	<b>27,260</b>	<b>28,738</b>
販売費及び一般管理費	23,573	23,959
<b>Point 3 営業利益</b>	<b>3,687</b>	<b>4,779</b>
営業外収益	621	1,193
営業外費用	399	164
<b>経常利益</b>	<b>3,909</b>	<b>5,808</b>
特別利益	232	388
特別損失	146	692
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,996</b>	<b>5,504</b>
法人税等合計	1,315	1,677
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>2,680</b>	<b>3,826</b>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	5
<b>当期純利益</b>	<b>2,681</b>	<b>3,820</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### Point 2 売上高について

アジア及び北米を中心に海外卸売事業で野菜種子の売上が増加し、前期末と比較して27億85百万円増加し567億7百万円となりました。

### Point 3 営業利益について

利益率の高い野菜種子の売上増加により売上総利益が増加した一方、販売費及び一般管理費は微増に留まったため、前期比10億91百万円増加し47億79百万円となりました。



# 会社概要／株式の状況

会社の概要(平成27年5月31日現在)

商号	株式会社 <b>サカタのタネ</b>
英文社名	<b>SAKATA SEED CORPORATION</b>
創業年月	大正2年(1913年)7月
設立年月	昭和17年(1942年)12月
資本金	135億円
本社	横浜市都筑区仲町台二丁目7番1号
従業員数	649名

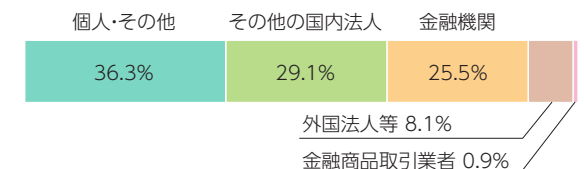
株式の状況(平成27年5月31日現在)

発行可能株式総数	104,000,000株
発行済株式の総数	48,410,750株
株主数	29,802名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ティール興産	7,607,996	15.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,360,957	6.94
株式会社みずほ銀行	2,245,500	4.63
株式会社三井住友銀行	1,990,760	4.11
佐々木嘉樹	960,000	1.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	798,700	1.64
資産管理サービス信託銀行株式会社	772,100	1.59
株式会社横浜銀行	744,047	1.53
キッコーマン株式会社	678,000	1.40
丸一鋼管株式会社	600,200	1.23

(注) 当社は、自己株式3,406,242株を保有しておりますが、上記10位からは除外して記載しております。

所有者別株式分布状況



役員(平成27年8月25日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	坂田 宏
常務取締役 常務執行役員	内山 理勝
常務取締役 常務執行役員	金子 英人
常務取締役 常務執行役員	加々美 勉
取締役執行役員	本田 秀逸
取締役執行役員	宇治田 明史
取締役執行役員	黒岩 和郎
取締役執行役員	古木 利彦
取締役	菅原 邦彦
常勤監査役	遠田 光雄
監査役	佐藤 順信
監査役	長谷川 上
執行役員	黒木 達司
執行役員	三浦 高明
執行役員	中井 智二
執行役員	米本 丈夫
執行役員	齋藤 弘佳
執行役員	高宮 全
執行役員	土門 賢一
執行役員	榎本 真也
執行役員	川村 学





# 世界のニーズに応える

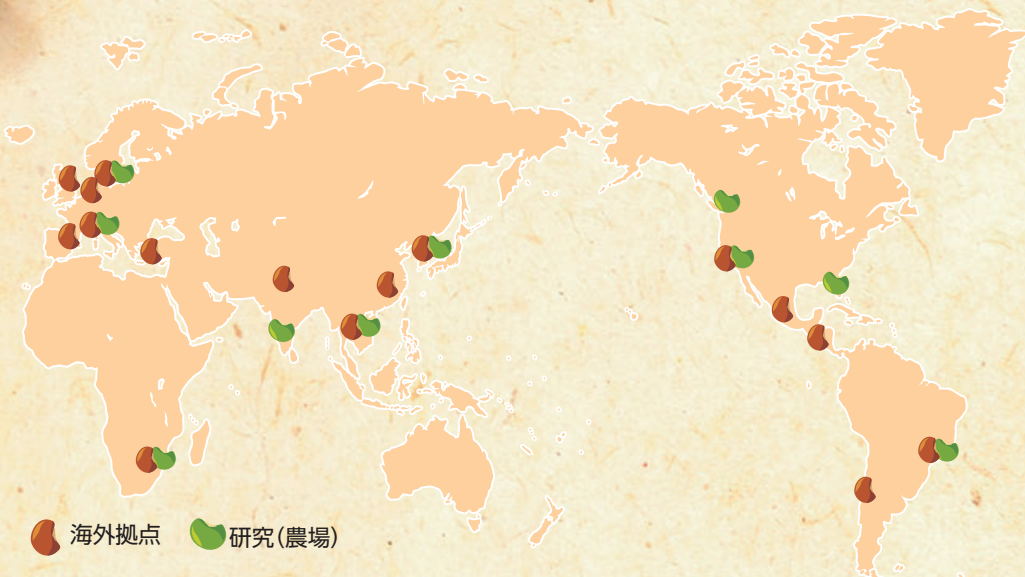
— 高品質なSAKATAブランドのタネを世界へ —

サカタのタネは大正2(1913)年に「坂田農園」として横浜の地に誕生しました。創業当初より、国際貿易の拠点という横浜の地の利を生かして、日本国内のみならずアメリカやヨーロッパなどの海外にも積極的に種苗の輸出入を行ってきました。今では当社の品種は世界170ヶ国以上で利用されています。

## ■サカタのタネグループ海外展開の考え

研究・生産から販売まで、種苗の世界は、国や地域の気候・環境や文化と密接に結びついています。そこで当社はワールドワイドに行われる業務を、世界の四つのエリア(四極)に分けて考えています。  
①日本を含むアジア・オセアニア ②北・中米 ③南米 ④ヨーロッパ・中近東・アフリカ・ロシアの四極で、地域に適した種子を、地域に適したサービスをもって販売しています。

海外拠点 世界に広がるSAKATAの海外拠点



海外SAKATAブランド



戦前、「オール・ダブル・ペチュニア」で世界に打って出たサカタのタネは、現在も全地球的規模で積極的な営業展開を行っています。

## ■サカタのタネグループの取り組み



### 1. 世界中で取り組む品種開発

気候や土壌、そして種苗が利用される文化は地域によってまちまちです。現地のニーズにあった品種を生み出すため、世界8ヶ国10ヶ所の研究施設で品種開発を行っています。

### 2. 緻密でグローバルな生産体制を構築

種子の生産に必要な晴天や乾燥した気候。また温暖化や乾燥、洪水、火山の噴火など世界中で起こる様々な気象変化のリスク回避。それらの目的のために、世界19ヶ国の生産適地で販売用種子の採種を行っています。



### 3. 高品質種子供給のための品質管理

種子は生き物です。皆様に高品質な種子を供給するために国際的な検査機関の認証を取得した検査部門の検査に合格した優良な種子だけを皆様のお手元にお届けしています。



### 主な海外拠点(平成27年5月現在)

アメリカ	サカタ・シード・アメリカ	フランス	サカタ・ベジタブルズ・ヨーロッパ
メキシコ	サカタ・シード・メキシコ	デンマーク	サカタ・オーナメンタルズ・ヨーロッパ
グアテマラ	サカタ・シード・グアテマラ	オランダ	サカタ・ホランド
ブラジル	サカタ・シード・スダメリカ	イギリス	サカタ・ユークー
チリ	サカタ・シード・チリ	スペイン	サカタ・シード・イベリカ
韓国	サカタ・コリア	トルコ	サカタ・ターキー
中国	坂田種苗(蘇州)有限公司	南アフリカ	サカタ・シード・サザンアフリカ / サカタ・ベジネティックス
タイ	サカタ・サイアム・シード		
インド	サカタ・シード・インド		



サカタ・シード・アメリカ





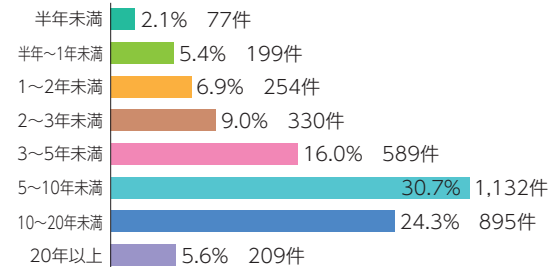
## 株主インフォメーション

### アンケート結果報告

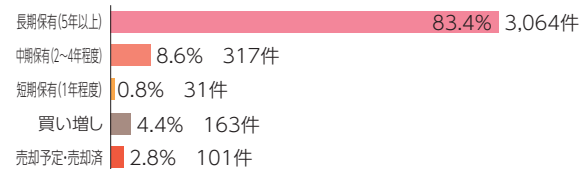
第74期中間報告書でご協力をお願いいたしましたアンケートにつきましては、3,785名の株主様より回答を頂戴いたしました。アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。ここにアンケートの集計結果の一部についてご報告いたします。当社ではいただいたご意見を真摯に受け止め、今後のIR活動の参考とさせていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

#### 株主様の属性

■ 当社の株式の保有期間をお聞かせください。



■ 当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



#### 株主優待のご案内

当社では当社の株をご購入・ご所有されている株主の皆様へ感謝の意を込めて「株主優待」を実施しております。

□ 対象となる株主様

毎年5月末日の最終の株主名簿に記載または記録されている1単元(100株)以上ご所有の株主様

□ ご優待内容

以下の所有株数に応じた商品カタログの中から好みの商品の一つ選択いただき、贈呈いたします。

- A** 100株から299株まで
- B** 300株から999株まで
- C** 1,000株以上

#### ご意見に対する当社の回答

**Q.** 株主向け報告書の内容を充実させてほしい。

**A.** ご意見を受けまして、株主の皆様これまで以上に当社グループを知っていただけるよう、本冊子から名称を「PASSION通信」とし、また、新たなページの追加、写真やグラフを活用するなど、大幅に刷新いたしました。

**Q.** 株主優待制度について検討してほしい。

**A.** アンケートの結果から、これまでの株主優待制度について見直しを希望される株主様が多くいらっしゃることが分かりました。そこで、より多く、より幅広い株主様にご満足いただけるよう、下記のとおり、優待制度を変更いたしました。



サカタのタネ ルーツを探る！ (物語 1 -前編)

## 海外実業実習で培った熱き志を胸に

### 稀代の創業者、坂田武雄の誕生

今日の「株式会社サカタのタネ」の創業者で、近代日本の種苗業界の発展に貢献した功労者の一人・坂田武雄は、明治21(1888)年12月15日、九州出身の父・伝蔵、母・邑(むら)の間に8人兄弟の長男として東京で生まれた。幼少期の武雄は動・植物や読書が好きな少年だった。

帝国大学農科大学実科へ入学し、寄宿舎で3年間の学生生活を送っていた武雄は、豊かではない実家の苦しさを見るにつけ、大学卒業後は独立した事業や商売を始めた方がいいのではと考えた。そこで卒業と同時に農商務省の海外実業練習生募集に応募、資格試験に合格した。

これを機に渡米、海外で園芸や種苗の基礎を学んでようと考え、明治42(1909)年10月、横浜からアメリカ大陸へ旅立った。満20歳の時である。

幸運だったのは、その後「生涯の恩師」と呼べるアメリカ人、ヘンリー・A・ドリアー(Henry A. Dreer)社のアイスレー(Jacob D. Eisele)社長に出会ったことである。ドリアー社はニュージャージー州リバートンという小さな町に広大な土地を所有し、数百名の従業員を雇って、世界でも一流の種苗業者として事業に取り組んでいた。

見習いに採用された武雄は、過酷な労働に耐え抜き、種苗事業の実務を学んだ。やがてアイスレー氏も目をかけてくれるようになった。後年、武雄はこう述べている。「同氏は自分の仕事を天職と思い、全精力を傾けてその方面で一流となった。彼はよく働くだけでなく、一切曲がったことはせずに正々堂々と行動した」

海外での実業実習を終えて帰国することになった武雄は、すでに「日本へ帰ったら、自力で苗木会社を興して商売を始めよう」と考え、独立して事業を始めると決心していた。帰国後、横浜市に「坂田農園」の看板を掲げ、同市外の六角橋に50アールの農地を借り、海外向けの種苗商を始めた。大正2(1913)年7月、24歳の青年のささやかな創業であった。



若き日の坂田武雄



アイスレー氏

### 苗木の輸出から、花・野菜種子の販売へ

数名の助手を雇って苗木の輸出入事業を始めた武雄だが、創業約3年経ってもまだ利益を出せなかった。農園の唯一の救いは、当時絹織物に次ぐ有望な輸出品となったユリの球根だった。大正3(1914)年からヤマユリやカノコユリの球根輸出を始め、最初の大きな商売にできた。ちなみに当社が昭和2(1927)年に制定した社章はこのユリに由来している。また、Quality, Reliability, Service(品質・誠実・奉仕)の標語が花を囲むデザインは、ヘンリー・A・ドリアー社の社章をモデルにしたと思われる。



当時の社章



ドリアー社の社章(右)  
(資料を元にイラスト化)  
右下の葉に当社社章(左)と同義の「RELIABLE」の文字が見える

しかし「創業から数年もすれば種苗事業に目鼻をつけられるだろう」という予想は大きくはずれた。武雄が苗木から種子への転換を考えたのはこの時で、種子なら苗木より勝負が早い。早ければ1年後に販売した種子が優秀かどうか分かるし、その結果によって顧客に信頼してもらえるはずだ。こう考えた坂田は、創業4年目の大正5(1916)年に種子の販売に踏み切った。

そして、人一倍働いたが、どうしても運転資金が足りず、資金繰りがかなり苦しくなってきた大正7(1918)年ごろ、知り合った実業家・大倉和親氏、及びその知人の森村市左衛門氏、長与程三氏など7～8名に援助してもらい、大正11(1922)年1月に匿名組合「坂田商会」を設立したのだった。



当時の配送手段は自転車

(物語 1 -後編)は、第75期中間報告書に掲載いたします。



## トピックス

平成27年5月21日リリース

### 秋まき5月どりに向く 中早生キャベツ『かおるだま』を発売

畑に長い間置いておける在圃性と肥大性があり、農家の作業の分散や安定出荷に貢献します。



平成27年7月1日リリース

### サカタのタネと大和リースが 緑化事業で業務提携

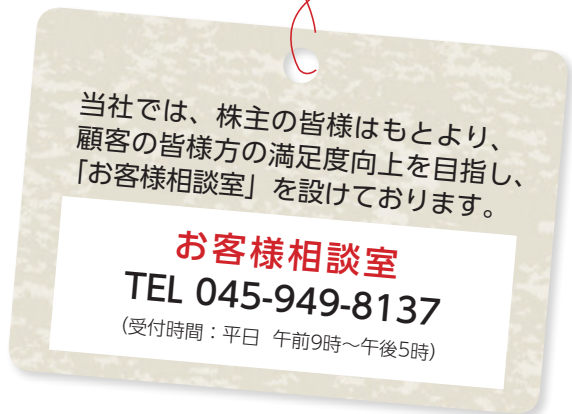
商品開発や販売で協力。第一弾として7月にサカタ開発の緑化ユニットシステム『どこでもガーデン。』の共同販売を開始しました。屋内外の人工地盤上の空きスペースがあれば、設置するだけで緑の空間を出現させることができるシステムです。



緑化ユニットシステム『どこでもガーデン。』の設置例。固定設置タイプ(写真)と移動式タイプがあります。

## 株式会社 サカタのタネ

〒224-0041 横浜市都筑区仲町台2-7-1  
TEL 045-945-8800(代)



当社では、株主の皆様はもとより、顧客の皆様方の満足度向上を目指し、「お客様相談室」を設けております。

**お客様相談室**  
**TEL 045-949-8137**

(受付時間：平日 午前9時～午後5時)

株 主 メ モ

事業年度	6月1日～翌年5月31日
配当金受領	期末 5月31日
株主確定日	中間 11月30日
定時株主総会	毎年8月下旬
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (証券コード 1377)
公告の方法	日本経済新聞

(ご注意)

株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

**UD FONT**  
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

